

アジア地域 GC フォーラム
 "Changing Landscapes: Towards a sustainable economy in Asia"
 参加報告会
 「状況の変化：アジアにおける持続可能な経済に向けて」
 内容と成果

報告：土屋仁美

1 プログラムの概要

日程		PRI	UNEP FI	UN GC
6月16日(月)		—	—	Local Network Meeting
6月17日(火)	午前	PRI in Person	UNEP FI Event	
	午後	Changing Landscapes: Towards a sustainable economy in Asia		
6月18日(水)		PRI in Person	UNEP FI Event	Asian dialogue on corporate citizenship

期間：2008年6月17～18日

場所：Grand Hyatt Seoul Hotel(韓国)

主催：責任ある投資原則(PRI)

国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)

国連グローバル・コンパクト(UN GC)

目的：金融機関、機関投資家、および企業の事業活動における環境、社会、ガバナンス(ESG)要素(factor)の促進

内容：持続可能な金融、責任投資、企業市民の分野における課題の議論

参加者：金融機関、機関投資家、世界をリードする企業の最高経営責任者や上級管理者の代表者、政界、学界、市民社会およびその他の機関のリーダー

参加者数：全体 約 600 人

UN GC 224 人前後(日本：18 人前後)

参加国：12 カ国(日本、韓国、中国、インド、インドネシア、スリランカ、タイ、ネパール、パキスタン、ベトナム、マレーシア、モンゴル)

* UN Global Compact China, Japan, Korea Meeting

時間：6月18日7：30～8：30

内容：各国の UNGC 価値の現状

北東アジアにおける UNGC 価値の促進の方法と手段

ネットワークの連携の促進 他

参加者：54人(日本13人、中国14人、韓国21人、UN GC6人)

2 プログラムの内容

(1) ローカル・ネットワーク会議(Local Network Meeting)

背景：GCLNs が構造的な組織となり、明確なガバナンス体制が確立することは、GCLNs の有効性と効率を高め、GCブランドの促進、取り組みの質の改善につながるガバナンス、コミュニケーション、実績評価の問題は、地域のネットワークにおける長期的な持続可能性に必要

目的：アジア地域に特有のビジネス慣行や方針における変更を効果的に促進し、GC原則のより効果的な実行により持続可能な発展や企業の社会的責任(CSR)を支えるために、アジア・太平洋地域のGCLNsに対して持続可能な事業を提案すること

内容：ネットワークの持続可能性

- ・ 地域ネットワーク機能をより効果的にするために有効な要素
 - ・ ネットワークの持続可能性のための枠組み
- ウェブサイトの開設

(2) 状況の変化：アジアにおける持続可能な経済に向けて(Changing Landscapes: Towards a sustainable economy in Asia)

① Opening Plenary

有馬利男さんの基調講演：

- ・ 日本のGCネットワークの活性化
- ・ CSRを議論する場とサポートの必要性
- ・ ビジネスに対する新しい価値の創造
- ・ GC参加目標数200社

② 5 Parallel Special Issue Session

i) 環境—新たな地平:低炭素経済の動向

背景：アジアの人口は世界の全人口の60%を占めており、世界規模の気候変動に与える影響力が大きい

目的：アジアおよび世界的な企業による気候変動の議論、革新的な投資方法、金融機関、企業の二酸化炭素放出削減策の考察

内容：アジアにおける企業や投資家による将来への備え

環境技術の発展と展開に対する投資家の影響力

アジアの企業におけるCAP and tradeと炭素交換

アジアにおけるクリーン・エネルギー・ファンドや投資の可能性

投資家の役割と投資家による評価

ii) 社会—アジアにおける労働条件:投資家と企業

目的：サプライ・チェーンにおける労働条件についての投資家と企業との相互理解の促進

内容：投資家にとってのサプライ・チェーンにおける労働条件の問題

サプライ・チェーンにおける労働条件問題に対する投資家の期待と役割

企業のサプライ・チェーンにおける労働条件の取り組みとその目的

企業のサプライ・チェーンにおける労働条件の取り組みを支持する投資の可能性

iii) ガバナンスと透明性—投資と安定を促進するガバナンスと透明性

背景：多くの国際機関やイニシアティブにおいてガバナンス構造の改善、企業取引の透明性の向上、腐敗防止が重要視されている。企業とステークホルダーはビジネス環境の改善を集团的に促進し、個々の企業は内部管理とコンプライアンス・プログラムを強化している。多くの場合、腐敗は、企業の“通常”の営業活動にはもはやみられず、透明な経済環境は投資と安定を支えている。市場の透明性と安定を支えることは金融企業の重要な役割であり、投資家と企業の透明性、開示、説明責任は長期的な金融パフォーマンスに直接関係がある。

目的：金融機関による企業のガバナンスと透明性についての取り組みと促進

内容：投資家によるガバナンスや透明性の改善、腐敗防止についての企業活動の評価

企業による透明性の促進、腐敗防止、ビジネス環境の改善についての取り組み

透明性の促進、腐敗防止における金融機関の役割

iv) 実態調査—アジアにおける企業の責任投資の“best practices”事例

目的：アジアの企業文化と日常的に関係する責任投資の規範との比較

内容：アジアにおける環境、社会、ガバナンス問題(ESG)についての株主の「ベスト・プラクティス」事例と地域による修正の必要性

環境、社会、ガバナンス問題における株主の圧力とアジア企業の反応

ガバナンスの取り組みと環境と社会問題との関係、投資家による促進

環境、社会、ガバナンス問題の統合と市場との関連性

投資決定における企業の取り組みと ESG 問題の統合

環境、社会、ガバナンス問題についての「協力的対話」の必要性

v) 公共政策—公共政策の課題:環境、社会、ガバナンス(ESG)問題に対する政策の取り組み方

背景：国際組織や政府は、日々の企業活動に重大な影響を及ぼす環境、社会、ガバナンス(ESG)問題について、新たな政策や法的枠組みを明らかにし始めている。企業や投資家は受け入れているが、まだ規範とはなっていない問題や環境、社会、ガバナンス

問題に関する規定や政策が企業に基準を与えている分野もあり、自主的な企業活動のためにも、より一層強化され、詳細に言及される必要がある。

目的：企業または投資家と政策立案者の関与の実例の提示

内容：企業、金融機関、投資家による環境、社会、ガバナンス問題の政策決定過程の関与
持続可能性について政策立案者が関与した事例
アジアにおける最重要課題と政策立案に関与する機会

(3) 企業市民についてのアジア対話：責任ある企業市民に対する概念、価値、慣行の変化 (Asian Dialogue on Corporate Citizenship : Changing Mindset, Values and Practices for Responsible Corporate Citizenship)

① Panel Discussion

- ・ 概念、価値、慣行の変化
- ・ 活発な参加と支持のための国連グローバル・コンパクト 10 原則との連携

② Breakout Session

- i) アジアにおける気候変動、京都議定書以降、基準と実践の変化
- ii) 世界的な CSR 動向の過去・未来と文化的、地域的相違のあるアジアの CSR 状況
 - ・ 東アジアの反応—中国、日本、韓国企業における CSR パフォーマンスの比較分析
→ 東アジアにおける SRI と CSR の促進における同一基準の設定と事実上の強制的なコンプライアンスの必要性

③ Presentation & Roundtable Discussions

- i) 考え方と価値の規範の変化—人権、労働、環境、腐敗防止
Ms. Na, Young hee(国家人権委員会、韓国)
 - ・ 韓国における CSR の現状
 - ・ 企業による取り組みの必要性
 - ・ 国家人権委員会と CSR との関係
- ii) 効果的で効率的な手段の実施の変化—効果的な手段と適応(アジアの事例)
- iii) 地域、企業類型、規模の相違についての課題—公的企業、複合企業、中小企業
- iv) COP の重要性、進化とコミュニケーションのための経験の共有と学習の共同体

3 ソウル宣言

- ・ アジアにおける、またはグローバルな企業活動に関する環境、社会およびガバナンスについての問題に対する投資家、金融機関、企業への要求
- 1) 責任ある投資原則、国連環境計画金融イニシアティブおよび国連グローバル・コンパクトの目的と合致する政策(方針)および手法の採用または更なる実施

- 2) 長期的な資本の信託者、管理者として、企業、事業および投資における環境、社会、ガバナンス問題への配慮
- 3) 投資家、金融業者、企業間で、アジア地域の新たな課題への対処に関する対話および協力の促進
- 4) 投資を支持し、企業の信頼性を高め、長期的な安定を当該地域にもたすため、企業の透明性および腐敗防止を含むガバナンス構造の向上の強調
- 5) 政策立案者とともに、重要な環境、社会、ガバナンス問題への建設的な関与
 - ・ 政策立案者は、投資および変化を事業プロセスに促すために、求められる長期的なインセンティブおよび確信を導入することができる